

液体クロマトグラフィー/質量分析法による下痢性貝毒の一斉分析法の開発

メタデータ	言語: Japanese
	出版者: 水産総合研究センター
	公開日: 2024-11-28
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 鈴木, 敏之
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012382

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



液体クロマトグラフィー/質量分析法による 下痢性貝毒の一斉分析法の開発

海区水産業研究部

研究の背景・目的

1. 下痢性貝毒は東北沿岸を中心に問題になっている貝毒
2. 二枚貝の貝毒の監視はマウス毒性試験法で行われているが、検査精度や動物愛護の観点から代替検査法の開発が求められている
3. 下痢性貝毒の高精度な分析法としては、液体クロマトグラフィー/質量分析法（LC-MS）が有効であるが、全成分の一斉分析例はなく、前処理も煩雑であるため、検査機関で実用化するのは困難
4. 本研究では、LC-MSによる下痢性貝毒の簡便な高精度一斉分析法を開発

研究成果

1. 国内で検出される主要下痢性貝毒成分を20分間で一斉定量分析することが可能になった
2. 本分析法は前処理を一切必要とせず、特別な技術を必要としないため、異なる検査機関間でも均一な検査結果を得ることが可能

波及効果

1. マウス毒性試験に対する簡便かつ迅速な代替法として実用可能

